



～イキイキと働き続けるために～ 「働く女性の健康応援サイト」

「働く女性の健康応援サイト」は、厚生労働省が支援し、働く女性と企業の双方に、女性の「健康と仕事」にまつわる情報を提供しているサイトです。心と体に生じる女性特有の健康課題を紹介するほか、Q&Aや専門家コラム、職場づくりのためのポイント、企業事例などを掲載しています。正しい知識や情報を入手し、誰もがいつまでも元気に働き続けるために、このサイトを活用してみませんか。



働く女性の健康
応援サイト



男女共同参画の意識を育む 親子おさかな料理教室を開催しました

7月30日、松橋西防災拠点センターで市内小学生の親子5組13人が参加して行いました。参加者からは、「魚をさばく機会がなかなかなくて、子どもたちばかりでなく、私自身、大変貴重な体験になりました。」「子どもがすごく楽しんでいました。これからは家でも子どもと料理を楽しみたいです。」などの声が寄せられました。

パートナーシップ・フェスティバルは 延期します

9月10日(土)に開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症が急拡大し、県からBA.5対策強化宣言が発令されたことから、来場者の安全を第一に考え、延期することになりました。

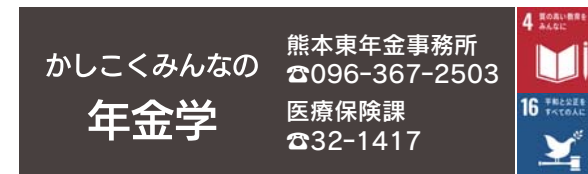


消費生活教材を市内の中学校に贈呈



消費生活相談員の高千穂小百合さん(左)、入江孝美さん(中央)から三角中の橋口京輔校長へ贈呈

7月15日、子どもたちがゲーム機やスマートフォンでの正しい遊び方を学び、トラブルに巻き込まれないようにするため、夏休み前に市内の中学校にマンガで学べる消費生活の教材を贈呈しました。これは、ガンホー・オンライン・エンターテイメント(株)より提供されたものです。



産前産後期間は国民年金保険料が免除に

国民年金の第1号被保険者が出産をしたとき、出産前後の国民年金保険料が一定期間免除される制度があります。

免除期間	出産予定日または、出産日が属する月の前月から4カ月間(多胎妊娠の場合は6カ月間)
対象	「国民年金第1号被保険者」で出産日が2019(平成31)年2月1日以降の人
必要書類	母子健康手帳
届け出時期	出産予定日の6カ月前から可能
届け出先	年金事務所または医療保険課、各支所総合窓口課

詳しくはこちら



みんなで学ぼうじんけん

生涯学習課 ☎32-1934



ひろみち 本田博通地域人権教育指導員が学校で働いていた経験などから「じんけん」の今をお伝えします



カムイユカラ

銀の滴降る降るまわりに、金の滴降る降るまわりに、カムイユカラは節を付けて語られる、神様が主人公の物語のこと。文字文化のないアイヌの人々の間で伝承されてきました。そのユカラを初めて文章に表した知里幸恵。アイヌであり、クリスチャンだった彼女の生涯を描いた一人芝居を見ました。西日本では初公演。舞台が設営された教会のステンドグラスからは斜光が差し込んでいます。「知里幸恵」を演じるのは舞台女優の舞香さん。教室半分ほどの舞台を動き回りながら声を使い分け、幸恵と彼女が人生で出会った人々を演じます。登別の村で生まれ、旭川の小学校へ入学した幸恵。そこで何気なく交わされるシサム(アイヌ以外の日本人)の言葉「アイヌでいることは恥ずかしいことなのか」。そして同胞に「あなたたちがみたいのに、ろくに勉強もしないで下を向いて歩いてなん



かいから、アイヌがばかにされる。私がアイヌじゃなかったら…。和人を消すはずの恨み言が、同じアイヌに向かっていったなんて。舞香さん演じる幸恵の葛藤に息をのみます。「数百もの壮大なユカラを記憶し、歌うことができるアイヌ。アイヌであることを誇りに」。そう話す言語学者金田一京助との出会いから、幸恵は自分を育ててくれたユカラを守る道に進むことを決意します。文字のない口伝えの文芸を記録に残した知里幸恵。幸恵がしなければならなかったのは、ユカラを日本語に訳して、その価値を広く知らしめ、美しいアイヌ文学を後世に伝えることでした。「アイヌ神謡集」の最後の校正を終えたその夜、心不全のため急逝。今から100年前のこゝと、19年の生涯でした。舞台を通して、私たちは知里幸恵と出会いました。

郷の記憶をたどる

文化スポーツ課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわるさまざまな文化の魅力を発信します



郷土資料館



開館時間 10時～17時
休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)
住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

国指定重要文化財 浄水寺碑附天保二年修理記念碑



浄水寺跡内の南大門碑

浄水寺跡内には、当時の建物の礎石と浄水寺に関連する4基の石碑が残されています。

これらの石碑には文字が彫られていて、この行為は中国で発達した文化。当時の日本では非常に珍しいものでした。現在、国内で古代の石碑の存在が確認されたものは23基。そのうち17基が現存しています。浄水寺碑にはその4基(南大門碑、燈籠碑、寺領碑、如法経碑)があります。複数の古代の石碑が同一箇所に残されていることは全国

豊野町にある浄水寺跡は、828(天長5)年に定額寺(国分寺に次ぐ寺格を有する寺院)に定められた古代寺院跡です。中心部と想定されている県指定の史跡浄水寺跡内には、当時の

的にも例がなく、歴史的価値が高いとされています。また、今から200年ほど前の1831(天保2)年に、浄水寺碑4基は劣化などの危険性があったことから、地元の有志により現在の場所に移動され、雨よけの石製笠が設置されました。そのときの経緯を記した「天保二年修理記念碑」も含めて、平成27年9月に国の重要文化財に指定されました。



現在、浄水寺跡内(現下郷神社境内)に石碑の現物がありますが、劣化防止のため覆屋で保護しています。ぜひ現地で実物をご覧ください。